



キリスト聖書神学校
CHRIST BIBLE SEMINARY

シラバス

組織神学 II：キリスト論、人間論、救済論 (オンライン版)

科目についての基本情報

科目番号: TH 312/512

科目の単位: 3 単位

講師: リチャード・ブラッシュ (Dr Richard Brash)
richard.brash@cbijapan.org

科目概要 (便覧・講義概要より)

「キリスト論、人間論、救済論」別称「組織神学 II」は神学的人間論、罪悪論、キリスト論、救済論を探究します。人間の創造とその性質、更に墮落がもたらした結果について検討します。また、初期のキリスト論論争を含んだキリストの本性と御業について探究します。これらを受けて、救済の性質、贖罪における救済の基盤、また信仰者の人生における救済の適用を学びます。

テキスト

この科目は必読のテキストはないが、以下の 3 冊を特にお勧めする。(ただし、内容をすべて奨励しているのではない。注意深く読む必要がある。)

- *市川康則『改革派教義学 3 人間論』一麦出版社 2012 年
- *牧田吉和『改革派教義学 4 キリスト論』一麦出版社 2022 年
- *牧田吉和『改革派教義学 5 救済論』一麦出版社 2016 年

講義内容

1.	序論：科目紹介
2.	人間論 1: 人間とは？（存在論的に、行動論的に）、人間の本質と構成
3.	人間論 2: 「神のかたち」としての人間
4.	人間論 3: 神との契約における人間（1）
5.	人間論 4: 罪論
6.	人間論 5: 神との契約における人間（2）
7.	人間論 6: 神学的人間論の今日的意味と課題、4つの状態を通る人間
8.	キリスト論 1: 組織神学を中心としてのキリスト論、キリスト論の諸課題と方法論
9.	キリスト論 2: キリストの人格論、キリストの神性
10.	キリスト論 3: キリストの人格論、キリストの人性と二性一人格の教理
11.	キリスト論 4: キリストの状態論
12.	キリスト論 5: キリストの御業論、預言者職、祭司職①
13.	キリスト論 6: キリストの御業論、祭司職②、王職
14.	救済論 1: 序論と救いの秩序
15.	救済論 2: 選び、キリストとの結合
16.	救済論 3: 有効召命、再生
17.	救済論 4: 回心、信仰と悔い改め
18.	救済論 5: 義認、子とすること
19.	救済論 6: 聖化、堅忍
20.	救済論 7: 栄化 & 結論

このコースに要求されることと成績評価

講義の視聴

全ての講義動画を視聴すること。

各回の講義まとめ

各回の講義（2回目～20回目＝合わせて19回）のまとめをA4 1ページで書くこと。箇条書きスタイルを想定するが、形式は自由。各回、1ページを超えてはならない。PDFファイルはGoogle Classroomを通して提出すること。

読書課題

以下の書籍を二つ選び、それらを完読すること。

1. 河野勇一『人はどこから来て、どこへ行くのか?—《神のかたち》の人間観』ヨベル社 2021年
2. 遠藤周作『イエス・キリスト』（新潮社 1983）『イエスの生涯』『キリストの誕生』の合本
3. ジョン・パイパー『義認の未来 N・T・ライトに対する応答』いのちのことば社 2020年

期末課題

以下の問題の一つを選び、レポートを書くこと。

1. 人間論

以下の書籍を読み（完読）、レポート（書評）を書きなさい。

河野勇一『人はどこから来て、どこへ行くのか?—《神のかたち》の人間観』ヨベル社 2021年

書評はA4で5～6ページ程度（脚注を含む、タイトル頁は含まれない）とする。形式は自由であるが、タイトル頁、脚注、参考文献をつけること。

枚数が足りない（ないしは超過する）レポートは、一枚ごとに10%減点する。

書評の内容：

- 神学書の短いまとめ（最長1頁分）
- 神学書の総合評価（理由も記すこと）
- 神学書から新しく学んだこと
- 神学書の、自分の考えと違う点の説明と、自分の立場の弁解
- 教会の信徒の方におすすめてほしい理由（または、お勧めしない理由）

- この課題の読書を通して**自分の神学理解**がどう変わったか、あるいは成長したかを述べること。できれば、自分の信仰生活やみことばの奉仕との関係も記すこと。

※ 書評の最後に、読書課題の2冊を完読したかどうか明記すること。

2. キリスト論

以下の書籍を読み（完読）、レポート（書評）を書きなさい。

遠藤周作『イエス・キリスト』（新潮社 1983）『イエスの生涯』『キリストの誕生』の合本

書評はA4で4～6頁程度（脚注を含む、タイトル頁は含まれない）とする。形式は自由であるが、タイトル頁、脚注、参考文献をつけること。

枚数が足りない（ないしは超過する）レポートは、一枚ごとに10%減点する。

書評の内容：

- 神学書の**短いまとめ**（最長1頁分）
- 神学書の総合評価（理由も記すこと）
- 神学書から新しく学んだこと
- 神学書の、自分の考えと違う点の説明と、自分の立場の弁解
- 教会の信徒の方におすすめしたい理由（または、お勧めしない理由）
- この課題の読書を通して**自分の神学理解**がどう変わったか、あるいは成長したかを述べること。できれば、自分の信仰生活やみことばの奉仕との関係も記すこと。

※ 書評の最後に、読書課題の2冊を完読したかどうか明記すること。

3. 救済論

以下の書籍を読み（完読）、レポート（書評）を書きなさい。

ジョン・パイパー『義認の未来 N・T・ライトに対する応答』いのちのことば社 2020年

書評はA4で4～6頁程度（脚注を含む、タイトル頁は含まれない）とする。形式は自由であるが、タイトル頁、脚注、参考文献をつけること。

枚数が足りない（ないしは超過する）レポートは、一枚ごとに10%減点する。

書評の内容：

- 神学書の短いまとめ（最長1頁分）
- 神学書の総合評価（理由も記すこと）
- 神学書から新しく学んだこと
- 神学書の、自分の考えと違う点の説明と、自分の立場の弁解
- 教会の信徒の方におすすめしたい理由（または、お勧めしない理由）
- この課題の読書を通して**自分の神学理解**がどう変わったか、あるいは成長したかを述べること。できれば、自分の信仰生活やみことばの奉仕との関係も記すこと。

※ 書評の最後に、読書課題の2冊を完読したかどうか明記すること。

レポートの提出方法

Google Classroom を通して提出すること。

期末試験

主に授業のレジュメに基づく期末試験を行う。

TH 312 1 時間、6 問

TH 512 2 時間、12 問

最終的な成績は次のように決定される。

TH 312

講義のまとめ	19% (1% x 19 回)
読書課題	15%
期末課題：レポート	33%
期末試験	33%

100%

TH 512

講義のまとめ	19% (1% x 19 回)
読書課題	15%
期末課題：レポート	33%
期末試験	33%

100%

推薦図書の一覧

(*= CBS 図書館にリザーブされている。)

A. 英語のみの文献

Bavinck, Herman. *Reformed Dogmatics*. Vol. 2, *God and Creation*. Edited by John Bolt.

Grand Rapids: Baker Academic, 2004.

Bavinck, Herman. *Reformed Dogmatics*. Vol. 3, *Sin and Salvation in Christ*. Edited by John Bolt. Grand Rapids: Baker Academic, 2006.

Brash, Richard. "Anthropology," in *T&T Clark Handbook to Neo-Calvinism*. Edited by N. Gray Sutanto and Cory C. Brock. London: T&T Clark, forthcoming 2023.

Frame, John. *Systematic Theology*. Philipsburg: P&R, 2013.

Letham, Robert. *Systematic Theology*. Wheaton: Crossway, 2019.

Spykman, Gordon J. *Reformational Theology: A New Paradigm for Doing Dogmatics*. Grand Rapids: Eerdmans, 1992.

B. 邦訳のある文献

Barth, Karl. *Church Dogmatics*. 13 vols. Edinburgh: T&T Clark, 1956-1975.

カール・バルト『教会教義学』全13巻（吉永正義訳）新教出版社1995年

Bavinck, Herman. *The Wonderful Works of God*. Glenside: Westminster Seminary Press, 2020.

*ヘルマン・バヴィンク『信徒のための改革派組織神学上、下』（松田一男訳）聖恵授産所1985年

Berkhof, Louis. *Systematic Theology*. Grand Rapids: Eerdmans, 1996.

エル・ベルコフ『改革派神学通論』（大山忠一訳）活水社1952年

Brash, Richard. *Knowing Me, Knowing God: Six Theological Keys to Scripture*. London: IVP, 2021.

*リチャード・ブラッシュ『自分を知り、神を知る：聖書理解を助ける 6 つの鍵』
(ブラッシュ木綿子訳、CBS 神学シリーズ) いのちのことば社・CBI Press,
2022 年

Calvin, John. *Institutes of the Christian Religion*. Edited by John Thomas McNeill.
Translated by Ford Lewis Battles. Louisville: Westminster John Knox Press, 1960.

*ジャン・カルヴァン『キリスト教綱要』改訳版 (渡辺信夫訳) 新教出版社 2007 年

Erickson, Millard. *Systematic Theology*. 3rd edition. Grand Rapids: Baker, 2013.

*ミラード・J・エリクソン『キリスト教神学 (全四巻)』いのちのことば社 2003-
2006 年

Erickson, Millard. *Introducing Christian Doctrine*. 2nd edition. Grand Rapids: Baker, 2001.

ミラード・J・エリクソン『キリスト教教理入門』いのちのことば社 2019 年

Jacobs, H. *A Summary of Christian Faith*. Augsburg: Fortress Press, 1905.

H. ジェーコブス著『キリスト教教義学』(鍋谷堯爾訳) 聖文社 1970 年

Kapic, Kelly M. *A Little Book for New Theologians: Why and How to Study Theology*.
Downers Grove, IL: IVP, 2012.

『シンガクすること、生きること いちばんわかりやすいキリスト教神学入門』ケ
リー・M・カピック著 藤野雄大訳、一麦出版社 2022 年

Murray, John. "Covenant Theology," in *Collected Writings of John Murray*. Edited by Iain
Murray. Carlisle: Banner of Truth, 1982. Vol. 4:216-240.

ジョン・マーレ『神の契約』(松田一男訳) 聖恵授産所 1986 年

Murray, John. *Redemption Accomplished and Applied*. Grand Rapids: Eerdmans, 1955.

ジョン・マーレ『キリスト教救済の論理』(松田一男・宇田進共訳) 小峯書店 197
年

Murray, John. *The Atonement*. Phillipsburg, NJ: Presbyterian and Reformed, 1962.

ジョン・マーレー『聖書の贖罪観』(宇田進共訳) オランダ・キリスト教文庫 1993
年

Packer, J. I. *Concise Theology*. Wheaton: Crossway, 2020.

J. I. パッカー『聖書教理がわかる 94 章:キリスト教神学入門』いのちのことば社 2012
年

Piper, John. *The Future of Justification: A Response to N. T. Wright*. Wheaton: Crossway, 2007.

ジョン・パイパー『義認の未来 N・T・ライトに対する応答』いのちのことば社 2020 年

Smith, Morton H. *Systematic Theology*. Vol. 1, *Prolegomena, Theology, Anthropology, Christology*. Eugene: Wipf & Stock, 2019.

モートン・H・スミス『組織神学』（佐々木実訳）
<http://minoru.la.cocan.jp/mortonmokuzi.html>

Thiessen, Henry C. *Lectures in Systematic Theology*. Grand Rapids: Eerdmans, 1949.

ヘンリー・シーセン『組織神学』（島田副安訳）聖書図書刊行会 1961 年

Van Til, Cornelius. *Introduction to Systematic Theology*. Philipsburg: P&R, 2007.

* コルネリウス・ヴァン・ティル『組織神学序論』（松田一男訳）

G. I. Williamson. *Westminster Shorter Catechism: For Study Classes*. Philipsburg: P&R, 2003.

G. I. ウィリアムソン『ウェストミンスター小教理問答に学ぶ よくわかる教理と信仰生活』いのちのことば社 2012 年

C. 日本語のみの文献

岡田稔『改革派教理学教本』新教出版社 1970 年

* 岡田稔『改革派神学概論』聖恵授産所 1985 年

宇田進『総説 現代福音主義神学』いのちのことば社 2002 年

河野勇一『人はどこから来て、どこへ行くのか?—《神のかたち》の人間観』ヨベル社 2021 年

熊野義孝『教義学 上』新教出版社 1980 年

* 市川康則『改革派教義学 3 救済論』一麦出版社 2012 年

* 牧田吉和『改革派教義学 4 キリスト論』一麦出版社 2022 年

* 牧田吉和『改革派教義学 5 救済論』一麦出版社 2016 年